

# 平成21年度職員海外研修報告書



DATE : Dec. 6 – Dec. 12, 2009  
HOST : Thammasat University  
COUNTRY : Thailand

静岡大学

---

Center Photo – The Dome located in Tha Phrachan campus is a historical symbol of the university. It Faces Chao Phraya River at the core part of Bangkok city.

1	はじめに	P 1
2	大学の概要と規模等の比較	P 2
3	企画運営	P 3
4	学生支援・ボランティア	P 5
5	教務事務関係	P 7
6	図書館関係	P 9
7	財産管理と学生寮	P 13
8	東アジア研究所	P 15
9	運動施設・その他の建物	P 17
10	農業・食文化・マーケット	P 19
11	研修スケジュール	P 21
12	事前事後の打ち合わせ	P 22
13	質問内容	P 23
14	キャンパスマップ	P 25
15	所感と謝辞	P 27

▼人文社会科学部の建物と広場にあるプオイ学長(Puey Ungphakorn)の銅像。10代目の学長でランシットキャンパスの創設など功績を称えた展示室がプオイ図書館内にある。12月は乾季にあたり最も涼しい時期ではあるが最高気温はこの日も32℃程になり、学生が日差しを遮りながら歩いている。



## 平成 21 年度職員海外研修報告書

■ 研修期間：平成 21 年 12 月 6 日～平成 21 年 12 月 12 日

■ 研修先：タマサート大学（タイ王国）

■ 研修者：情報学部学務係	係長	山下 義保
教育学部学務係	係員	柴田 大樹
学術情報部図書館チーム	スタッフ（レファレンス担当）	高橋 里江

### 1 はじめに

資料によると以前から個別の教員による接点はあったものの、静岡大学とタマサート大学の交流は理学部の里村教授が研究調査のためタイに渡航した際、タマサート大学工学部の准教授を訪ねたことが始まりになっているらしい。ここから 2008 年 8 月に大学間協定が締結され、そして我々が渡航する直前である 2009 年 11 月、東アジア研究所建物内へのタイ連絡事務所が設置される一連の標石が築かれて来ている。

今回の研修の特徴となるべき点は、過去 3 年が北米の大学を訪問先としていたことに対し、初めてアジア地域へと目的地を変えたこと、そして新規協定校で今まさに各方面での交流が盛り上がるようとしている地を訪ねたことである。

タイと言えば国際都市バンコクを首都に持ち、経済発展を成し遂げた東南アジア地域の中心的な国の一つ、また日本とも山田長政の時代から関係を持ち中立外交を取っているなどといった事柄が知られる。

しかし訪問し改めて感じたことは、東アジア研究所、アジア工科大学院、アジアスポーツ大会などアジアに対するアイデンティティが至る所に掲げられ、日系企業など海外の人や物がそこへ向けて集まっているということである。

大学運営に関しては欧米が歴史や先進的な取り組みにおいて考察の対象となることが多いが、タマサート大学には最新かつ国際的なカラーと何よりエネルギーがあったと思う。

我々は研修という名称で派遣されたが、少なくとも応対してくださった方々は他大学の職員に教育を施すという姿勢ではない。あくまで自大学をリサーチに来た客人として、至る所で親切にしてもらい、時には新しい交流計画をご提案していただいた。今回の研修もまた一つの標石として、この報告書は次の交流に向けての有意義な資料として、両大学にとって役立つことを切に願う。



#### タマサート大学のシンボルマーク

外側の輪は仏教のダルマを表し道徳を育てる理念、書物を載せる台は国の憲法・民主主義を支える大学の役割を表している。



## 2 大学の概要と規模等の比較

タマサート大学	静岡大学
1 学生数 32,507名 〔学部：25,480名 大学院：7,027名〕※1	1 学生数 10,395名 〔学部：8,818名 大学院：1,577名〕
2 教職員数 5,983名 〔教員：1,623名〕 ・教授32名、准教授385名、助手422名、講師784名 〔職員：4,360名〕 ・教員補助1,204名、管理職員2,119名、一般職員1,037名	2 教職員数 1,180名 〔教員：700名〕 ・教授353名、准教授264名、講師8名、助教73名、助手2名 〔職員等：480名〕※3 ・役員7名、附属教員132名、事務職員等341名
3 学部数 17	3 学部数 6
4 予算額 56億バーツ ※2 〔うち政府補助 20億バーツ〕	4 予算額 158億円 〔うち政府補助 97億円〕
5 蔵書数 151万冊	5 蔵書数 119万冊

※1 学士修士一貫471名、Certificate 295名は学部へ加算。 ※2 平成22年1月時点:1バーツ=2.8円

※3 非正規職員を含まない。〔主な引用元:International Prospectus, Academic Year 2008、静岡大学概要 2009年度版〕

### ■タマサート大学の概要：

#### ▼歴史ある名門校

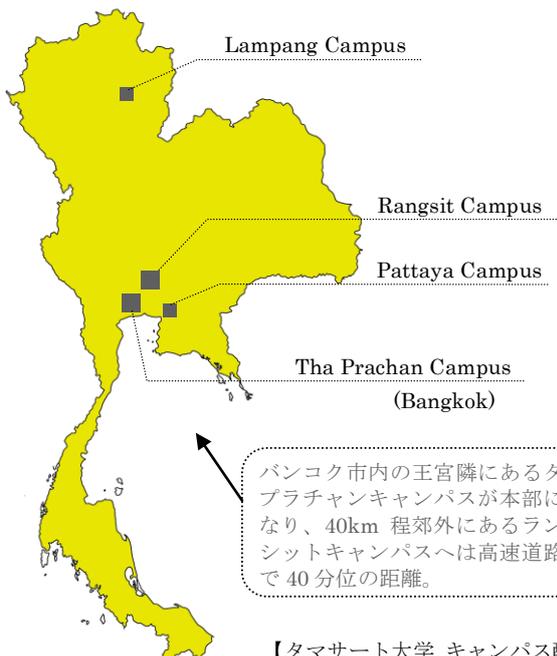
2009年で75周年を迎えるタマサート大学は、タイで2番目に古い歴史を持つ大学である。前身である法政大学(University of Moral Science and Politics)が1934年に設立され、以降1952年に現在の名称へと変わり現在に至るまで、7人の首相や数多くの裁判官、企業・社会のリーダーを輩出している。

#### ▼タイ民主主義を支える人材育成

バンコク中心部にあるタブラチャンキャンパスは幾度か民主化要求運動の舞台となってきた。1976年10月に多くの犠牲を出した学生運動をはじめ、時の政権に対する民衆の声が集まる場となった歴史もあり、民主主義を支えるという大学の理念は伝統として深く根付いている。

#### ▼4つのキャンパス

1986年には新たに広大なランシットキャンパスを加え、その地に工学部、医学部といった理系分野の学部を建設することにより、総合大学へと拡張している。現在学士課程の学生はこちらがメインになっており、1万人を超す定員の学生寮や、国際的スポーツ大会の開催地としても兼用できる大規模な運動施設を抱えている。他にも2つの小規模なキャンパスが郊外にあり、専門的な研究機関が置かれている。



【タマサート大学 キャンパス配置図】

#### ▼活発な国際的提携

海外協定校を多数持ち、アジア53校、ヨーロッパ58校、北米43校、オセアニア21校など世界中の大学がアジアにおける拠点として交流を望んでいることが窺える。これらに加え静岡大学も新たに協定を結んでおり更に数を増やしている。また、外国資本からの援助も様々な形で受けており、1992年に日本経団連及び国内産業連合による援助を基に開設されたシリントン国際工学部(SIIT)など、国際交流或いは戦略的な観点から投資が行われている。

### 3 企画運営

- 訪問部署：Office of the Rector (General Topics)
- 対応者：(Assoc. Prof. / Vice Rector) Siriporn Khampalikit, Planning Division Staff, …
- キーワード：カフェテリア、品質管理、災害への備え、予算規模、ラーニングセンター、エデュテイメント、モノレール駅、入試、過疎地域枠、障害者枠
- 表敬訪問：各部署を回る前、最初に副学長（ランシットキャンパス統括）へ表敬訪問をさせていただいた。挨拶に引き続き、プランニング担当部署の職員も交えて全般的な内容について質疑応答を行った。
- ミーティング形式：全ての部署を通して、東アジア研究所のニパラット先生がタイ語日本語通訳をしていただいた。まず英文名刺を渡し、事前送付した質問一覧に沿いつつ得られた情報のメモを取り、最後に事前準備した簡単なお土産を渡す流れで進められた。広報のカメラマンにも同行してもらい、写真の一部はこの報告書にも利用させていただいた。
- ダイジェスト：
  - ▼入試制度（3種類）
    - ①全国統一のセンター試験…年間約 3,000 人
    - ②各学部独自のテスト…年間約 3,000 人
    - ③田舎の学生の特別枠…年間約 200 人、スタッフが各学生の実家まで調査に行き、学生ごとに補助の形態を更に3つに分けている。1) お金の支援はないが優遇して入学させる。2) 少しの補助金を与える。3) 貧しい家庭の場合は全額を免除する。
    - ④その他…ハンディキャップのある学生やスポーツ推薦のための定員枠も設定されている。
  - ▼カフェテリア
    - ①食堂の概要…全キャンパスで計8つの直営の店があり、ランシットにはその内4つがある。管理する部署は場所により異なり、病院の事務局が管理しているところもある。食堂を管理する部署には2つのブロックがある。1) 契約等について管理する部門。2) 料理の内容や品質管理、従事者に対するトレーニングを担当する部門。
    - ②安全な食べ物…月に1度は品質について事務局がチェックを行っている。
    - ③リーズナブルな価格…価格は 20～25 バーツと基準が決まっている。病院や職員等の食堂は決まりはないが、これに準ずるような形で運用されている。
  - ▼新規の建設計画
    - ①ラーニングセンター…図書館近くに建設する予定。国の予算承認が降りれば2年後の 2011 年に完成する。外国語の資料を配置。楽しみながら学ぶエデュテイメントを掲げる。利用対象は興味をもっている学生やスタッフ。メインライブラリーとの連携を取る。図書館スタッフがアドバイスを行う。1 万㎡、4 階建て。2～4 階に外国語教育用のスペースを作り、1 階にはコピーコーナーや企画展用のスペースを作る。多くの学生が寮生活をしており、回りにそれ程町が発展していないため、キャンパス内で夕方以降も学生が活動できるよう図書館等の設備を提供している。
    - ②周辺のアクセス…政府の協力もあり高架モノレール(BTS)がバンコク市内から延長されて、5 年後の 2014 年位にランシットに駅が出来るようになる予定。
    - ③附属病院等…附属病院のベッド数を現在の 400 から新たに 600 追加する予定。医学部生のインターン用に。新たな寮の建設計画あり。理学部・医学部向けの実験用動物の施設を来年建設予定。
  - ▼その他
    - ①災害時の安否確認…地震を想定した携帯電話への情報発信等のシステムはない。地震がそんなに起こらないため。火事や爆発事故等に対応した避難訓練を年1回行っている。消防設備の動作チェックは月1回の頻度で行っている
    - ②授業料免除等…免除総額は授業料収入の10%までの額で配分する。この他に学部独自や各財団による奨学金が存在する。授業料改定は4年に一回、他大学との授業料負担では中間くらいの位置。昨年の国内大学の総合ランキングでは3～4位とのこと。
    - ③外国語教育…リベラルアーツを履修する段階で様々な外国語を卒業単位として履修可能。IEASでは卒業単位外だが希望者が日中韓国語を学びに来ている。メジャー・マイナー制度があり、た

くさん履修すれば初修外国語をマイナーとすることもできる。例) 政治学をメジャー、英語をマイナーとして修得する。タマサートは学部間のクロスラーニングもしやすいように体制が整えられている。

- ④就職状況…就職は公共・民間部門で人数は半々くらい。また外国も含め大学院進学者も相当数いる。就職できない人はほとんどいない。
- ⑤遠隔会議システム…タプラチャンとランシットの他にランパンとパタヤのキャンパスがあり専門的学部が置かれている。特に後者2つは距離が遠いためモニタのある部屋でビデオ会議を行っている。学生向け授業でこうした設備の利用はまだない。

■分析と課題：

- ①高架モノレールの延長は隣接するサイエンスパークやアジア工科大学院も含めての政府協力とは思いますが、そうした期待に応えるかのように大学が立てる企画自体も海外に引けを取らないものであり、なおかつ研究活動だけでなく特に学生サービスの面からの積極的取り組みが目立つ。
- ②食堂については利益を得るより学生の日常生活を支えるという意図が中心に置かれていた。品質管理や価格設定においても、大学が提供するある種のサポートとして捉えられている。

■申送り事項：

- ①質問を投げ掛ける中でやはり静大での状況も聞かれ、持参した写真と英訳入りの静大概要はイメージを伝えるのに役立った。手持ち資料として作成した静大側の現状英訳も事前に送っていたら、より焦点の絞られた回答を得られたのかもしれない。



▲副学長(左から5番目)とプランニング担当の皆様と撮影。記念品としてスケジュール帳をいただいた。



▲質疑応答の様子。ニバラット先生(右から2番目)に通訳をしていただきながら進化した。



▲社会科学部棟にある学生食堂。個別の売店がいくつも並んでおり価格はどこも安くてきりの良い値段。右上の2階にもテーブルがあり、撮影した昼食時は学生で混雑していた。



▲東アジア研究所内のレストラン。おそらく大学直営ではないがお手頃な値段。ウェイターが注文を取りに来てくれる。

## 4 学生支援・ボランティア

■訪問部署：Student Activities Center, Student Service Center

■対応者：Ms. Wilaiwan Sungpreeda, …

■キーワード：サークル棟、ボランティア登録、奨学金、サークルによる予算管理、学則、リーダーシップ研修、スポーツ事業、障害者支援

■ダイジェスト：

▼奨学金の制度と特徴

①種類の概要…奨学金には返済不要のものとローンの2種類がある。無償のものは年間合計で約1000人がもらえて、金額は学部ごとに異なる。具体的にはまず文系・理系で分けられて、理系の中でも医学部とその他では異なる金額が設定されている。

②奨学生の見返り…受給した学生は大学に対して恩返しをすることになっている。ボランティア登録とはまた別に、何かイベント等があると大学から呼び出しがあり手伝いをしている。

③各種の支援金…論文の評価により①1万②8千③5千パーツが与えられる賞がある。また、研究旅行の場合には電車の割引として100パーツが大学から支給される。他にも学科ごとに予算を確保して1時間300パーツ程のアルバイトを学生に提供している。男子学生で兵役に当たった場合は5年間の在学延長措置を行っている。

▼サークルや学生活動の支援

①プロジェクトの提出…学生課が300～400人の所属学生の名簿を管理している。各サークルの管理メンバーとして代表者を選出し、それぞれから出されるプロジェクトに応じて予算配分をし、執行後には提出された決算書類を事務職員がチェックしている。社会に出た時のトレーニングとして位置づけている。プロジェクトがないと予算はカットされる。

②サークル棟…文科系サークルは円形の吹き抜けがある3階建ての建物を利用している。ダンス用の鏡等もあり学生が練習していた。ここに約30のサークルが所属しており基本的にいつでも建物に入れる。体育会系のサークルは別の建物にある。2007年のスポーツ大会で建設されてその後大学の施設として移譲された。

③大会など…チュラロンコーン大学、カセサート大学といった近隣の大学とサッカー大会を開いており、既に62年の伝統がある。副学長他が日本で米の栽培方法を見学して来たことを反映させて、大学内で田植えの体験を行う取り組みをしており、課外活動として今年で4年目を迎える。

▼ボランティア活動

①担当の事務所…文科系サークル棟1階には昨年設置されたボランティアセンターの事務所があり、専門的に業務をおこなっている。

②ネットワーク…他大学との連携ネットワークを作っており、タマサートが最初の提唱大学。情報収集や呼び掛けをする拠点として機能している。スマトラ沖地震の時に外国人に大学内の宿泊地を提供する取り組みも行っている。地震をきっかけに大きな災害が起こったときには、外部のボランティア団体等とも連携を取りすぐ動けるような体制を整えている。

③現在の活動…ボランティア登録学生数は約2千人おり、今年の大学75周年記念イベントや国の音楽会、スポーツ大会等の手伝いを行っている。外部からの要請に応じて登録学生に呼びかけを行う。キャンパス周辺の小学校で飼育小屋を作るなど大工仕事が割りと多い。

▼障害者支援

①制度的な支援…毎年ハンディキャップのある学生を年50人の定員で入学させている。障害者に対応するセンターもあり、入試、寮生活、奨学金や附属病院でのリハビリを紹介し、就職のサポートも行っている。全員が就職出来ており、一部は大学院へ進学する。

②設備の充実…点字や音声のライブラリがあり、貸し出しが出来る。点字は読んでいるうちにすり減るので返却は不要。視覚障害者のためにパソコン画面を大きく表示するソフトや、テキストの読み上げソフトを使いヘッドホンで聞けるようになっており、実際に学生が使っている様子を見学させてもらう。文字の背景の色を変えてコントラストが見やすくなるようにするソフトや、車椅子用の机、点字の印刷機などの設備が備えられている。

▼その他の学生支援事務

- ①構内規則の運用…カンニングやアルコール等の違反に対する処置も管轄している。罰金はないが退寮などの処分が下される。
- ②健康管理…健康や薬に関する知識、タバコの弊害、エイズ予防の啓発運動、保険の取り扱い業務を行っている。
- ③教育指導の関係…カウンセリングや、就職を見据えた話し方や英語の指導。他大学とも提携して学生向けリーダーシップ向上のプロジェクトも行っている。
- ④スポーツ事業…キャンパス内で行われるスポーツゲームの企画や選手村の準備、アドバイス、管理などの業務もここでやっている。スポーツキャンプ等の企画も行う。
- ⑤特別枠入試の取り扱い…体育推薦も行っており、入学時の審査から卒業するまで面倒を見ている。ハンディキャップ枠の入試も実施。

■分析と課題：

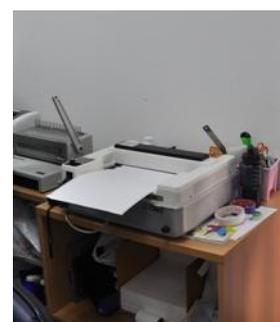
- ①ボランティアに関しては情報収集とネットワーク作りを大学が主体となり行っている。無償の奉仕活動が本来の姿ではあるが、こうした柱となるセンターに投資を行うことにより、2千人の登録学生を活用出来るという波及効果を生み出している。
- ②設備とスタッフの双方が確保され、障害者入試枠の設定という題目を達成している。学生を呼び込むための看板を立てるには、やはり相応の投資が必要である。
- ③サークルの決算書類の管理やリーダーシップ研修など、大学がどういった学生を社会に送り込みたいか明確なものが伝わった。一方で多様な才能が求められる社会において、大学がどういった関わり方をするのか、一貫したスタンスを探るのは容易ではないと感じた。



▲学生課での質疑応答の様子。



▲障害者支援用のパソコンや点字ライブラリ等がある部屋。Wilaiwan さん(右端)に説明をしていただいた。



▲点字シートを印刷するためのプリンタ。専門の職員が打ち込み作業を行っている。



▲ボランティアセンター内で説明を受ける。田植え体験の写真などが窓(左上)に飾られている。



▲文科系サークル棟の様子。円形の吹き抜けが特徴的。各サークルの部屋が並ぶ。



▲ボランティアセンター玄関前にて記念撮影。お土産の工芸品をいただきスポーツ大会のバッジを着けてもらった。

## 5 教務事務関係

■訪問部署：Office of the Registrar

■対応者：(Assist. Prof. /Director) Viravat Chantachote

■キーワード：適正な授業料、学務情報システム、聴講生、銀行との連携、WEB決済、ソフトウェアベンダー

■ダイジェスト：

▼授業料と各種徴収金

- ①学部別の金額…建築学科のように特別な徴収金がある学部のみ半期 50,000 パーツと金額がかなり高くなっているが、大体の学部では半期 10,000～15,000 パーツ程度の金額。
- ②国立と私立の比較…私立大の平均が半期 50,000 パーツなので政府の補助金で約 70%をサポートしている計算になる。
- ③単位数に応じた授業料…半期約 20 単位×1 単位あたり 300 パーツで平均 6 千パーツの授業料の他に最大 13 種類の各目的別徴収金があり、半期 12,000 パーツ程度の額が必要。現在の 1 単位あたりの授業料は 2 年前に改定されたもので、それ以前は 250 パーツだった。物価等の情勢を見つづつ値上げをしたとのこと。同じく名門であるチューラーロンコーン大学などでは単位数に関わらず同額になっており、管理の面では簡単だが以前議論した際にやはり公平性の観点から現状の体系になっている。

▼学務情報システム

- ①導入の経緯…2 年前 VisionNet(バンコク市内にあるタイ国内企業)という会社のソフトを購入し現在利用している。他大学でも導入実績のある会社の製品。導入費は 1 千万パーツで年間コストが 15 万パーツ。全学部と大学院でこのシステムが運用されている。
- ②機能の概要…(1)年齢、住所等個人情報を入力 (2)カリキュラムの管理 (3)授業の履修登録 (4)教員による成績の登録 (5)新生が行う各種手続き (6)定員のある授業の管理 (7)単位に応じた授業料の払い込み
- ③履修の追加と削除…正規の登録期間後の遅延猶予期間内であれば履修の追加・削除が出来、削除の場合は銀行からお金が返金される。更に猶予期間を越えてしまうと、追加は不可能で削除をする場合も"W"の評価が残る形となる。削除をしないとそのまま"F:failed"となる。
- ④その他の運用…学生の履修登録は WEB から、教員の成績報告も WEB が基本だが紙媒体も受け付けている。登録は家または図書館や社会科学部棟などで利用出来るパソコンから行う。学生の登録でも特殊事情があるときは紙による申請で職員が代行入力している。学生が直接登録することで自己責任を明確に出来るメリットがある。

▼授業料課金の仕組み

- ①自動決済の概要…クルンタイ銀行(Krung Thai Bank)と提携して ID カード(学生証)をデビットカードとして使えるようになっている。学務情報システムの画面にオンラインショッピングのような買い物かごのボタンがあり自動決済を行う。手続きが終わったら証拠書類として払い込みの画面をプリントアウトして各自保存する。
- ②振込手数料…履修登録の際振込み手数料が 1 回当たり 10 パーツ掛かり学生負担となるが、銀行側にも口座数増加など利点が多い契約相手なので普通より安くなっている。デビット機能付きの ID カードは入学時に無料で作られ、再発行には 100 パーツが必要。また、年会費として 100 パーツを支払う必要がある。今のシステムが導入される前はテレバンク方式を使っていたが、データベースを銀行側が管理する形になり問題があった。
- ③特徴…この課金制度の長所は教員が授業料未納者を早い段階でチェックでき、未納者は授業を登録できないこと。学部長のサインがあれば分割払いも可能で、こうした延長制度も 10 年前に整備された。

▼その他の教務事務

- ①IT インフラ…携帯電話へのメール配信は行っていない。携帯の料金体系の違いもあるが、SMS 1 通で 3 パーツで学生負担を考えると難しいとのこと。PC のメールアドレスは把握しているので必要があれば事務局からの連絡等に利用している。

- ②入学志願者数…大学への志願者数の推移は、今のところ大きな変化は見られないとのこと。  
国からの補助金による授業料負担の軽減は一般学部 70%で医学部の場合 90%に上る。
- ③LMSの導入…LMSについては概念について説明するのにかなり時間を要したが、そういったシステムはまだ学部的一部分に留まっているとの回答。社会人対象の遠隔授業では使っている場面もあるかもしれない。
- ④聴講生制度…希望する授業を取る場合には一般学生が優先される。通常教室定員には余裕があるので授業レベルについていけるか担当教員が判断して大丈夫であれば登録できる。履修登録はWEBから行うため、学籍番号ごとに決められた登録日に各自入力を行う。上位学年の再履修生の方が登録の際優先権があるらしい。英語等の語学系科目では比較的少人数で1クラス 25～30人程度。実験科目の場合は機器の数も考慮される。
- ⑤課外活動証明書…ボランティアやサークル等、在学中の課外活動履歴を証明書にして発行する取り組みが、現在国際工学部(SIIT)にて行われている。来年1月からの全学部実施に向けて準備を行っている。

■分析と課題：

- ①授業料徴収制度の違いから、各種手続きで根本的に考え方が異なる部分がある。仮定の話にはなるが、もし単位数に応じた授業料徴収がされれば、授業料未納除籍、履修上限単位数、GPA導入に伴う履修管理の厳格化など様々な課題をクリア出来るのかもしれない。そもそもGPA等欧米から来た制度の成り立ちは、実はこうした所が基礎となっているのではと感じた。
- ②海外でもWEB履修登録へと流れが向かっており、それに伴い大学内の自主開発を取り止めソフトウェアベンダーへ多額の支払いをしている現状を窺うことが出来た。

■申送り事項：

- ①この部署でのインタビューは当初英語で進められたが、静大職員側の語学力の問題もあり、より充実した情報を得るためニバラット先生に頼んでタイ語から直接日本語に通訳をしてもらう形に変更した。英語でご対応くださった先生にはご迷惑をお掛けすることとなり、限られた時間内で正確かつ有意義な情報を得るためには、余裕のある語学力を要することを体感させられた。

■参考資料：

〔主な学部の授業料〕

単位：パーツ

項目名	法学部		工学部		建築学部	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
新入生登録料	400	0	400	0	400	0
図書館利用料	750	750	750	750	750	750
保健管理費	125	125	125	125	125	125
運動施設費	200	200	200	200	200	200
学生生活動費	150	150	150	150	150	150
タマサート大学費	450	450	450	450	450	450
教育補助費	2,400	2,400	6,000	6,000	6,000	6,000
特別徴収金	0	0	0	0	9,000	9,000
事故保険料	110	0	110	0	110	0
書類費	200	20	200	20	200	20
ネットワーク料	300	300	300	300	300	300
スポーツセンター費	100	100	100	100	100	100
研究室備品費(概算)	900	900	900	900	900	900
①各種徴収金小計	6,085	5,395	9,685	8,995	18,685	17,995
②授業料(19単位の例)	5,700	5,700	6,600	6,600	33,000	33,000
合計 (①+②)	11,785	11,095	16,285	15,595	51,685	50,995

〔留学生の必要経費〕

項目名	金額
授業料	30,000
大学徴収費	10,000
プログラム料	15,000
住居費	25,000
生活費	55,000
合計	135,000

※半期あたりの目安 単位：パーツ  
(International Prospectus 掲載資料より)

〔関連写真はP14を参照〕

## 6 図書館関係

- 訪問部署：Puey Ungphakorn Library, Rangsit Campus (for Social Sciences)
- 対応者：(Head Librarian) Ms. Chutathip Osananon
- キーワード：学習環境の整備、滞在型図書館、学習支援、情報リテラシー教育、学術リポジトリ、学生参加、地域貢献
- ダイジェスト：

### ▼ 図書館概要

- ① 大学創設と同年の 1934 年にタマサート大学図書館（タプラチャンキャンパス）は開館した。現在、タマサート大学の集中管理のもとに 9 つの図書館が運営されている。他キャンパスの Pattaya Campus Library、Lampang Campus Library はその管理外であるが、蔵書をシェアしている。
- ② 訪問先は 2002 年に新設された Puey Ungphakorn Library, Rangsit Campus（プオイ・ウンパーコーンライブラリ）で、社会科学分野の図書館である。10 代目の学長であるプオイ先生の名前が館名となっており、功績を称えた展示が館内に常設されている。ランシットキャンパスには他に理工学図書館（1986 年開館）と医学図書館（1993 年開館）がある。
- ③ タマサート大学図書館の全蔵書は、図書約 151 万冊、雑誌約 3,300 タイトル、新聞 34 タイトル、視聴覚資料約 42,000 点を所蔵している。プオイ図書館の所蔵は表の通りである。日本語資料を含む IEAS の蔵書も現在はアジアコレクションとしてプオイ図書館に収蔵されている。

### プオイ図書館(ランシットキャンパス)蔵書数

Books & other materials	186,736 volumes
Asia Collection	17,687 volumes
In storage	133,276 volumes
<b>Total</b>	<b>337,699 volumes</b>



▲1F 中央エリアを今後インフォメーションcommonsにする予定。



▲図書館の中央が吹き抜けになっている。天井から自然光が入り館内は明るい。

### ▼ 施設・設備 / 学習環境

- ① 図書館は 3 階建、面積 18,669m<sup>2</sup>、閲覧席数 1,946 席、PC162 台を設置。
- ② 1F 中央スペースはいずれ複数の円形デスクを並べて、いつでも使えるよう PC を常設する予定。インフォメーションcommonsとして運用する。
- ③ 各フロアの主な施設・設備と利用は次のとおりである。

### 1st floor

サービスカウンタ、レファレンスデスク、自動貸出装置がある。新聞、新着図書、雑誌が配架され、閲覧席が並んでいる。そして、モバイルゾーンから先は会話ができるスペースである。



▲1F 広々とした閲覧スペース。OPAC 検索端末が設置され、奥にはマルチメディアルーム、デジタルライブラリ等のエリアがある。

**Multimedia Room** マルチメディアルーム（85 席）はインターネット、オンライン検索、スキャン、プリントアウトが可能。キャンパス内のラーニングセンターでも PC を使用できるが、図書館は平日 8:00-21:00（試験期-23:00）、土日 9:00-18:00（試験期-19:00）まで開館していて、夜間も利用率が高い。PC の利用にはログインが必要で学生のみ利用できる（ID カードとパスワードが必要）。パソコンの貸出は行っていない。印刷は 1 枚 2 パーツである。

**Tutoring Zone** 9 月に新設されたチュータリングゾーンは、会話をしながら学習できるスペース（192 席）。無線 LAN でインターネットにアクセスできるため、パソコンとホワイトボードを使用しながら、グループで学習する様子を見ることができた。チューターに検索や利用方法を教えてもらうこともできる。

**Snack Corner** スナックコーナーはチュータリングゾーンの手前のスペースにあり、学生は箱にお金を入れて自由に食べてよい。午後 7 時にお菓子と料金箱を回収する。会話ができるスペースと静かにすべき閲覧席の間は扉で仕切られており、声が届かないよう考慮されていた。



▲授業後、チュータリングゾーンでは、多くの学生がグループで勉強していた。



▲スナックコーナーは箱にお金を入れて食べることができる。



▲会話ができるモバイルゾーンから静かな閲覧スペースへの扉に貼られた掲示

**Storage** 書庫には出版年の古い資料やタイ国内の雑誌、海外雑誌のバックナンバーを保管している。エアコンが入り空調管理されている。

**Exhibition of Puey Ungphakorn** ロビー入口にオープンな展示スペースがある。タイの経済発展に大いに貢献した国の重要人物でもある 10 代目の学長プオイ先生の生い立ち、手稿、当時使用していた机などを見ることができる。

## 2nd floor

書架と閲覧席、視聴覚サービス (155 席)

**Information Literacy Room** 利用者への講習会等を行う。訪問の際に図書館の概要やサービス、活動等について説明を受けたのもこのインフォメーションリテラシールームである。

**Muslim Prayer Room** カーペットを敷いたムスリム礼拝室がある。

**Activity Room** 上映会や講演会が開催されるアクティブティールーム (120 席)。

音響設備やスクリーンを備えている。講演会の様子を備付けのカメラで記録することもできる。



▲2F インフォメーションリテラシールームでは講習会などが開催される。



▲2F アクティブティールームは図書館大会やイベント開催時に使用される。



▲3F のリーディングエリアは書架のないスペース。グループで利用できるスタディールームが 6 室ある。

## 3rd floor

**Reading Area** 書架はなく閲覧席のみが並ぶ学習スペース。利用者がいない時間は節電のため消灯している。試験期は 3F エリアも多くの学生が利用する。給水設備が設置されていた。

**Study room** ゼミなどでグループ利用できる学習室が 6 室ある。ガラス窓なので利用中の様子がわかる。また、遮音性もある。

### ▼図書館サービス

#### ①プオイ図書館の開館時間

平日…8:00-21:00、試験期…8:00-23:00

土日…9:00-18:00、試験期…9:00-19:00

#### ②図書館が提供する主なサービス

##### **Circulation, Reserve Service**

自動貸出装置により利用者は自分自身で操作し手続きをする。



▲各種手続きを行うカウンタ



▲ID カードを差し込み、図書を所定の場所に置いて IC チップを読みこむと手続きができる自動貸出装置

返却期限内であれば図書館もしくは Web の貸出情報から貸出期間を更新できる。延滞した場合は 5 パーツ/1 item/ day を払う。

### **Inter-library Loan, Document Delivery/Book Delivery**

タイ国内の大学図書館より相互貸借、文献複写の取りよせを行う。他キャンパスの資料も郵送で貸出し可能。

### **Photocopy and Document Scan& print**

館内の資料でも複写をオーダーすると複写物を受け取れるフォトコピーサービスが利用できる。



▲館内資料も複写をオーダーできる  
フォトコピーサービス（奥の窓口）

## ▼電子ジャーナル・データベース、学術リポジトリ

### Electronic Collections

TU theses	9,846 titles
Rare books	539 titles
Electronic Journals	6,470 titles
Databases	78

①図書館が契約している主な電子ジャーナルおよびデータベースは以下の通りである。

EBSCOhost, ABI/INFORM, Emerald, JSTOR, IEEE/IEL, Science Direct, ProQuest Dissertations & Theses(PQDT), Taylor & Francis, JSTOR 等により論文情報、抄録、本文を提供している。

②所蔵している貴重資料のデジタル化を進めており、Web 上で内容を閲覧できる。

③タマサート大学の出版物や学位論文のフルテキストデータベースを作成している。学術リポジトリを構築しているが、現在、Web による本文の閲覧は学内に限定。



▲THAMMASAT UNIVERSITY REPOSITORY  
<http://dspace.library.tu.ac.th> (DSpace)

## ▼教育支援・情報リテラシー教育

- ①図書館は講師と連絡をとり、クラスのためのデータベース紹介や利用教育を行っている。例えば、データベース検索や文献管理ソフト等の講習会があり、多くの講義と連携している。
- ②図書館 Web サイトに Information Literacy Program のページがあり、教職員や学生ほか、利用者はスタッフへコンタクトをとって、情報リテラシーの各種コースを受講することができる。
- ③学習活動やプレゼンテーションの練習でスタディールームやチュータリングゾーンを利用できる。チューターはデータベースの使い方や図書館の利用について教えている。1 時間あたり 40 パーツで図書館学を学ぶ学生(2 年生～4 年生)を雇用していて、授業のない時に活動しているとのこと。

## ▼滞在型の学習施設について

- ①1F 中央にインフォメーションコモングの設置を計画している。複数の円形デスクにコンピュータを常設し、いつでも利用できるようにする予定である。
- ②図書館と隣接する場所に新たなラーニングセンターが建設される(2 年後完成予定)。図書館とは別の施設だが、長時間滞在して学習できる施設である。  
このセンターは 4 階建で約 1 万 m<sup>2</sup> の建物。24 時間体制で運営される予定である。1F はビジネスゾーン、2F はチューターゾーン、視聴覚ゾーン、3F はリーディングゾーン、4F はマルチメディアゾーン、ランゲージセンター。全てのフロアにカフェテラスを設ける。1F にはコピーセンター、飲食店、コンビニエンスストア等の商業施設が入る。4F のランゲージセンターは外国語のデータベースを充実させて、語学だけでなく文化も学べる施設とする。
- ③リベラルアーツ教育を重要視し、学生の教育のために提供する。外国語を学ぶことは卒業後の学生にとって大いにチャンスとなると考えている。
- ④ラーニングセンターは教員とスタッフの協働で運営する。

## ▼図書館への意見・要望

- ①毎年アンケートによる利用者調査をしている。Web サイトからも利用者の声を聞くためのオンラインアンケート、ホットラインを用意して、運営に反映させている。
- ②館内には意見箱や要望を自由に書けるボードが設置してあり、意見や要望を出すことができる。

#### ▼地域貢献・連携

①大会・活動等 Annual Conferences の報告は Web サイト上で公開している。

毎年開催される図書館大会は国内図書館が持ち回りで開催校となり、その時々テーマを決めている。開催通知が届くので希望者は参加を申し込む。大会へは図書館職員が多く参加していて、それぞれ得たものを持ち帰り、各館の業務へ応用している。

②Library friends' day

2009.11.10-12 に開催した Library friends' day では、作家を招いた講演やライブ、学生による演奏会を行った。地域の方にも参加してもらえる図書館主催のイベントである。毎年好評で学内外から多くの参加者が集まる。

#### ▼その他

①図書館としての目標を立てて、ストラテジー・マップを作成している。

②図書館システムは HORIZON というシステムを使っている。

③図書の分類は米国議会図書館による LCC がタイではフォーマルとのこと。

#### ▼Thammasat Library, Rangsit Campus (for Sciences and Technology)

①後日、理工学分野の資料を所蔵している図書館を見学した。簡単な図書館の案内をして頂き、写真も撮ることができた。規模は大きくないが、中庭を囲むように閲覧室があり、日が差して明るくきれいな図書館。庭はよく手入れされていて、学生が休憩できる場所である。



▲理工学図書館の正面入り口



▲理工学図書館の館内。クリスマスと新年を祝う飾りつけがされていた。(2009.12.11)



▲ブイ図書館のロビーで記念撮影(2009.12.9)

#### ■分析と課題：

①学生への教育支援は積極的に行われていると感じた。図書館だけではなく、大学全体で取り組まれている。ラーニングセンターはキャンパス内に複数あるが、新たに建設を予定している。夜間の運営は安全面が気にかかるが、安全を確保できれば、安心して学習に集中できる環境が増える。図書館と隣接する場所なので、どのように連携を図っていくのかを知りたいと思う。

②学生は館内の各エリアを上手く活用しているようである。例えば、チュータリングゾーンではグループによる学習が活発に行われていた。また、それをサポートする人的なサービスとして、図書館はチューターを配置している。チューターは大学での学び方、論文作成やプレゼンテーションの指導等までは行っていないが、学生の需要はあると考える。どこでその役割を担うかは方針によるが、多くの資料を収集している図書館は電子資料にもアクセスでき、効果的に学習・研究活動を進めるのに適した場所の一つである。より効果を高めるためには、教育プログラムと連携し、協働で体制を整えて行くことが重要となるだろう。

③スナックコーナーには驚いたが、とても面白い発想だと思った。リフレッシュできそうである。

#### ■申送り事項：

①午前中の訪問では学生が授業中であるためか、利用者が少ないように思えた。しかし、授業後の夜間、再度訪問した際には多くの学生が来館しており、実際の利用状況を見ることができた。利用の様子は時期時間によって異なるため、訪問の際には考慮に入れる必要がある。

②2009年にタマサート大学で開催された図書館大会のトピックは、"Change Management of Libraries in the Next Decade"であった。Web上に報告が公開されている。とても興味深い議題である。アジア圏の図書館の動きを広い視野で見ること大切だと感じた。

## 7 財産管理と学生寮

■訪問部署：Thammasat Property Management Office (TPMO)

■対応者：Ms. Rachadarudee Pundit

■キーワード：独立採算、外部資本の店舗、セミナー会場、アジアゲーム村、TU Dome、入寮基準、警備員の配置、寮費の支払い、火気厳禁、アルコール、モデルルーム

■ダイジェスト：

▼事業の全般

①運営形態…財産管理部(TPMO)自身が大学の管轄下で学規則に沿ってはいるが、独立採算で運営されている。収入のうち 35%を更新費用、35%を修理費用とし、残りの 30%を大学の収入として扱っている。

②テナント…キャンパス内にある外部資本の店舗、サロン、銀行などのテナントを管理している。1区画2×2mの大きさの学生が行うフリマの場所代の管理も行っている。

③宿泊施設…学生寮や社員向けの独身・家族寮の管理を行っており、タプラチャンキャンパスの寮についてもここで扱っている。一時訪問者向けのミニホテルの運営を行う。ただし東アジア研究所内のホステル等は別で管理。

④公演会場等…セミナー等を行う会場の管理。キャンパス内の映画館は 400～500 人を収容可能で新入生向けのガイダンスやミーティング等で利用している。

▼寮の分類と設備（5種類）

①元アジアゲーム選手村…1500 バーツ、電気・水道料金込み。10 年前の大会で使われた設備を移譲。2人で寝室とリビングを使い、シャワーとトイレも各部屋にある。

②古くからある安い寮…共同シャワーでエアコンでなく扇風機が備えられている。月 600 バーツで共同リビングにテレビがある。30 年以上前からの建物。

③医学部の寮…月 700 バーツ、230 部屋で各部屋 3 人。扇風機のみでシャワーの温水器が付いていない。共同の電子レンジ、ポットあり。

④TU Dome …1333 人部屋、部屋単位の料金設定、各 3 人で 3000 人収容可能 1 部屋が月 4800 バーツ。3 人で割り勘にしてもよい。民間組織の出資による建物で新築。

⑤タプラチャンキャンパスの寮…部屋単位の料金設定で 3600 部屋。

▼寮生活

①費用の支払い…寮費の支払いは 4 ヶ月ごとに学生が財産管理の窓口で現金を持ってくる。電気・水道は口座引き落とし。

②寮内規則…寮内は火気厳禁で料理も禁止されている。学生は自炊ではなく近くの食堂で食事を済ませている。門限があり、出入り可能な時間は朝 5:00～夜 24:00。寮を管理する先生がいる。アルコール類は持ち込み禁止で、キャンパス内でも販売されていない。

③周辺警備…各寮の入口には警備員がいる。警備員は大学全体で 120 人程おり、CCD カメラも所々に設置されている。寮外でもキャンパス内の至る所で女性も含めて警備員が見られる。

▼入寮基準

①定員配分…全ての寮の定員を足すと約 1 万人で入寮には優先順位が設けられている。田舎の学生が基本的に優先され、近隣に住んでいる人は自宅通学をし、キャンパス外の民間アパートも利用されている。

②親への配慮…学年ごとに枠が決まっており 1 年生が 50%、2～4 年生を合わせて 50%の配分。1 年生は親も心配するため特別な配慮がされている。財産管理部のあるインターゾーンビル向かいには学生寮のモデルルームがあり、見学させてもらった。アジアゲーム選手村と古くからある寮の 2 種類が展示されていた。

■分析と課題：

①多くの学生が親元から離れ寮で生活しており、構内の至る所で見られる警備員も親に対する心遣いの一部と思われる。防犯や交通安全など余り宣伝対象にはならないが、日頃から取り組むべき課題であると感じた。

②学内にテナントが充実しているが、誘致するための建物があり、町まで距離がある寮に多くの学

生や教職員が密集して生活している環境が揃っていることが大きい。学生向けフリマの区画貸し出しであれば、それほどハードルは高くないのかもしれない。

■ 申送り事項：

- ①説明はプレゼン資料を使いながら進められた。他の部署でもこうした資料が用意されており、事務組織でもプレゼン出来るものがないよりもあった方が良いのではと思った。



▲インターゾーンビル正面入口にて記念撮影。左から2番目が説明していただいた財産管理部の Rachadarudee さん。



▲寮のモデルルームの様子。



▲財産管理部でのプレゼンの様子。前方のテレビ画面を使いながら説明をしていただいた。



▲インターゾーンビルの向かいに見える寮。どの寮も高層で団地のようにになっている。



▲教務課窓口がある部屋。前方奥が入口でカウンターがある。パーティションに区切られたデスクが並び。



▲教務課での質疑応答の様子。右から2番目が Viravat 先生。



▲教務課窓口の傍にあるクルンタイ銀行のATMコーナーの様子。



▲フой図書館内にある情報センター。IDカードがあれば学生はインターネット等を利用出来る。



▲教務課でインタビュー終了後の記念撮影。

## 8 東アジア研究所

■訪問部署：Institute of East Asian Studies (IEAS)

■対応者：(Dr. /Program Director) Natthawut Samphaiboon, …

■キーワード：日中韓国語、日本語能力試験、工業団地、日系企業、クラス分け、タイ人とネイティブ講師の組み合わせ、日本建築、国際交流、静大事務所

■ダイジェスト：

▼日本語教育の概要

①現在は日本語中心…日中韓国語を教えているが現在メインは日本語で講師の数も圧倒的に多い、今後中韓国語の教室も広げる予定とのこと。日本語は1年で1400～1500人ほど受講し、中韓国語は合わせて500人程度。日本語教育は22年位の歴史がある。

②クラス分け…B-1～B-4、M-1～M-4、A-1～A-3クラスの順になっており、ベーシック、インターミディエイト、アドバンストの各クラス。漢字やボキャブラリーの目標数が各クラスで設定されている。日本語能力試験4～2級を受ける位のレベルを教える。一番上のA-3で2級。レベルが上がるにつれ人数が減るのでA-3は現在数人程度しかおらず、経営的に更に上のクラスを設けることは難しい。

③開講時間…授業時間は基本的に夜間・休日等の時間外。

平日…17:00～18:30（1コマ目）、18:30～20:00（2コマ目）

日曜…60分のクラスを3時間

金曜は労働基準法で週休2日にする関係で休み。学生は月+水、火+木、日曜日の3種類の組み合わせから選び、時間数は同じになる計算。

④集中講義…年に数回定期的に集中レッスンのような形で授業を開き、敬語の勉強などを行っている。有名人の特別講演も行い評判が良い。200人位が受講した。

▼現役学生と社会人学生

①工業団地…受講生の内、大学生と社会人が半数ずつ。どちらも自分の意思で受けているのでとても熱心。大学生は卒業単位とは別に自主的に受講する形。タイにある工業団地の約8割は日系企業。17:00まで仕事をして18:00頃から授業を受ける。社会人は平日は2コマ目の受講が多く、大学生は1コマ目が多い。

②授業の様子…実際の講義の様子も見学させていただいた。東アジア研究所内の講義室でその時行われていた6クラスの日中韓国語のレッスンを回った。授業は日本人とタイ人の先生が交互に行うよう計画されており、プロジェクト等を活用しながら説明していた。

③日本語講師…日本語講師は常勤4名が在籍し、皆420時間の研修を日本で受けた有資格者。非常勤は日本人3名とタイ人9名で合計17名。中国語は5名、韓国語は3名。タイ人講師は他に本職があるものの全員日本語能力試験1級を取得済み。採用時は模擬授業と面接の結果を評価して決定する。ここのキャンパスがバンコクから少し遠いので、講師も近場に住んでいる人が中心で勤務地の範囲が限られる。

④インターンシップ…静大教育学部等の学生で日本語教育をやっている人がいれば大歓迎とのこと。大学生を教えるので最低でも学士が必要、修士学生等で希望者がいればインターンシップの形でアシスタント的な役割をお願いしたいと伝えられた。

▼茶室と庭園

①日本建築…東アジア研究所の中庭には茶室と池を配した日本庭園がある。玄関軒下には福田赳夫元首相の額縁がある。木材も日本から運んできたもの。木の雨戸のついた和室一部屋と、お茶を用意する部屋がある。茶室はにじり口や掛け軸のある本格的なもの。

②ホステル…静大一行は研究所内の宿泊施設でツインルーム3部屋を使わせていただいた。合計で30部屋60人宿泊可能で一泊850バーツ。テレビ、冷蔵庫、洋式トイレ、温水シャワー等が備えられており、固形石鹸、タオルと飲料水は毎日代えてもらえた。

③協定校の事務所…建物2階にある研究室の並びの一角にあり、隣に立命館や三重大の事務所もある。デスク1つとパソコン、プリンタがあり漆塗りの静大プレートが額縁で飾られていた。以前記念に贈呈され最適の場所としてここに飾っている。

▼東アジア研究所の事業

- ①周辺各国への支援事業…この研究所のメイン事業でもある隣国投資促進計画室：Office of the Investment Promotion Programme in Cambodia Myanmar Laos and Vietnam (CLMV) は講義室のすぐ隣にあり、政府の依頼を受け隣国での開発の可能性について調査している。
- ②交流事業への関わり…何より忘れてはならないのが、静大関係者が毎回ソムチャイ所長にご挨拶いただいていること、副所長のニバラット先生においては今回ずっと通訳と案内をしてくださったことなど、研究所スタッフの方々が東アジア地域の協定校との交流に尽力されていることである。研究所HPを見ると実に様々な来訪者があることが分かり、常に活発なやり取りをしていることが窺える。

■分析と課題：

- ①日系企業のアジア進出に伴い日本語講師の需要も増しているはずであるが、あまり国内大学での講師養成の動きは聞かない気がする。アジア地域の国際交流を促進するに当たって、日本語講師を頼る方法も考えられるのではと思った。
- ②留学生を日本へ招くには物価の関係から大学側、学生側共に金銭的な問題が生じることが多々ある。しかし、日本からの贈呈品など大切に飾られているのを見ると、国際交流とは長期的な視点から重要な取り組みであることを改めて認識させられた。

■送り事項：

- ①滞在中気が付かなかったが、おそらく静大事務所を借りればネット閲覧やメール報告等も可能だったと思われる。日本から持参した国際通話が可能な携帯電話は何回か活躍した。



▲茶室の玄関先に飾ってある福田元首相の額縁を眺めている。



▲日本語教育の授業を観察した時の様子。入門クラスにはこの時間帯現役大学生が多数出席していた。



▲静大事務所内の様子。パソコンとプリンタが設置済みで、左上に漆塗りの額が飾ってある。お花も飾っていただいた。



▲滞在した東アジア研究所内のホステルの様子。エアコンや冷蔵庫などもある。



▲茶室内にてにじり口付近を撮影。この右側には床の間がある。



▲東アジア研究所の正面玄関に入った所。タイ国旗と王室旗が並び、奥には中庭とホールの建物が見える。



▲仙台育英高校から帰国してきた3人（左から3～5番目）の留学生と会い中庭で記念撮影をした。

## 9 運動施設・その他の建物

■訪問部署：Main Stadium, Aquatic Sport Center, Book Store, …

■対応者：(Dr./IEAS Deputy Director) Niparat Sritharet, …

■キーワード：アジアスポーツ大会、ブックストア、郵便局、構内循環バス、約 270 本の旗、メインスタジアム、フィットネス

■ダイジェスト：

▼メインスタジアム周辺

①スタジアムと万国旗広場…スタジアム前の広場には約 270 本の旗を掲げられるポールが並んでおり、力を表す 2 頭の金のドラゴン像がある。競技場は約 5 万人を収容可能でトラックの中に芝生のサッカー場もある。日本の国立競技場と同じくらいの規模かもしれない。

②各種プール…アクアティックスポーツセンターの 2 階と 3 階に屋根付きプールが 3 面ある。飛び込み用の深いプールが 1 面、もう一面ではアセアンのスポーツ大会に向けて国の強化選手が練習中。熱帯なのでもちろん 1 年中泳ぐことが出来る。

③フィットネス用施設…同センター 1 階にはフィットネス用の施設がある。学生、職員、一般とそれぞれの料金体系で利用可能で、営業時間は 15:00~21:00。

・学部生：無料 ・大学院生：1 回 30 バーツ ・職員：年 500 バーツ or 1 回 30 バーツ

・一般：年 1000 バーツ or 1 回 50 バーツ

入口に受付の人がいて、ID カードを預かっていた。隣にはタイマッサージの店もあり、足 45 分で 120 バーツ、体 60 分で 150 バーツ。営業時間は平日の 13:00~21:00。大学職員も体育施設を利用して、時々バドミントンなどをしているとのこと。

▼ブックストア

①取扱商品…キーホルダー、メモ帳、しおりなどのタマサートグッズや指定の制服などがあり、教科書等の書籍と文房具等の日用品が購入できる。アップル社のパソコンの販売コーナーもある。

②書籍の販売…学生は 10%割引で本を購入できる。教科書等は先生から推薦の手紙を書いてもらえば店に置くことができる。タイ語の本は売れ残っても返品できるらしいが、英語書籍など外国から発注するものは返せないで注文数を慎重に考えている。ランシットキャンパス内にタマサート大学出版があり、新学期にはここからの本が 20%引きになるフェアを開催している。

③喫茶コーナー…ブックストアのご担当者に案内してもらった際も、店内の喫茶コーナーのテーブルで挽きたてのコーヒーを頂きながらお話を伺った。

▼コンビニエンスストア及び学内の外部資本店舗

①日本でも見る商品…構内にはセブンイレブンが 2 箇所あり、1 つはガソリンスタンドが併設している。菓子類など日本で見える商品や辛い食べ物も置いてあるので、滞在中はよく利用した。

②インターゾーンビル周辺…ビル内にはヘアサロン、旅行代理店、雑貨屋、アイスクリーム屋など外部資本の店舗がたくさんある。マンガ専門店もあり日本マンガのキャラクターが窓ガラスに大きく描かれていた。小型カラオケボックスやすかいらーくのレストランも見られる。

▼構内巡回バス

①キャンパス内バス…黄色い車体の窓がないキャンパス内移動用の無料バスに乗ると広い構内を効率的に動ける。降りる時はブザーで知らせる。路線は 3 種類あり、バス停にある案内板に青・赤・黄で通る線が描かれている。ただし乗る時は車体を書いてある 1・2・3 の番号で路線を判断するので、不慣れな静大一行はなかなか上手く目的地に辿り着けなかった。

②キャンパス間バス…屋根付きのエアコンの入ったバスはタプラチャンキャンパスへ向かう路線用で、こちらも無料で利用できる。

③タクシーなど…流しのタクシーがよく構内を走っている。タイのドライバーはかなり飛ばすので、人通りの多い構内道路には段差を作りスピードが落ちるよう工夫されている。学生は自転車やバイクを主に使い、バイクは 3 人乗りなども時々見かける。犬もよく歩いている。

■分析と課題：

①体育施設の規模は圧倒されるものがあり、維持をするスタッフなどもかなり大掛かりなものと思われる。利用料金がどの位かは分からないが、地域の催しから国際大会まで公共施設のように使

われている印象がある。静大の施設を活用する場合もやはり収益重視にはし辛い気がする。近隣住民には特別価格とするなど公共財としての広告効果を主眼にするべきではと思った。



▲ブックストア内の喫茶コーナーにて担当者とミーティングを行った。後ろでは学生がコーヒー等を飲んでいる。



▲メインスタジアムの外観と、万国旗広場にある黄金の竜の像。



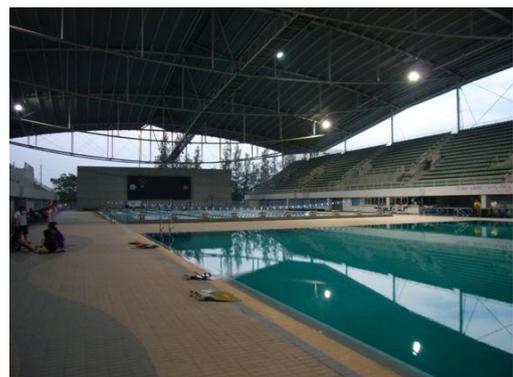
▲インターゾーンビルに入っているテナント。円形の建物を囲むように店舗がいくつもある。



▲アティックススポーツセンター1階にあるフィットネス施設。右下のテーブルに学生証を預けてから利用する。



▲構内を循環する黄色い無料バス。停留所で自由に乗り降り出来る。天然ガス自動車（NGV）のマークが車体に付いている。



▲アティックススポーツセンター2階のプール。奥にはタイム等を表示する電光掲示板が見える。



▲バス停には屋根が付いている。手前にあるポストは日本と同じく赤い色。

## 10 農業・食文化・マーケット

- 訪問部署：Talad Thai, Royal Jubilee Agricultural Museum, …
- 対応者：(Dr. /IEAS Deputy Director) Niparat Sritharet, ファイさん, エイさん, …
- キーワード：中央卸売市場、農業国、王立農業博物館、治水、土壌改良、山間地の作物、野菜や果物の種類
- コメント：本来であれば大学業務とは直接関係のない部分になりますが、今回ソムチャイ先生、ニパラット先生共に農業分野のご専門で、農業国タイの大変興味深い施設等を見学場所として選びご案内いただいたことから、1つの章を設けて学んだ内容をまとめております。
- ダイジェスト：
  - ▼ 中央卸売市場(Talad Thai)
    - ① 市場の概要…ランシットキャンパス北東のすぐ近所に国内最大の農産物卸売市場がある。まず事務局でプレゼン用ビデオを見て担当者との質疑応答を行った。14年前の1995年に設立。運営は民間のagr exchange co.が行い合計200エーカーの敷地、1日あたり15,000トンの取引、広大なオレンジ専用の市場、米、ミックスフルーツ、ココナッツ、輸入果物などのプレミアムマーケット、菓子とドライフルーツ、花卉、ガーデニング用植物、肉、淡水魚、ペットの各市場、冷蔵庫、汚染物質の調査センター、輸出入センター、トラックの荷台を使った直接売買 etc.
    - ② 取り扱い業務…ピックアップトラックの荷台を使った直接売買は場所代として1日あたり200バーツ。車輪の数によってまた価格が変わる。仲買人システムもある。市場の中でも立地により料金が異なる。輸出で一番多いものは野菜や果物になるが、取引のメインは国内向け。輸出作物は海外企業と提携した契約農家から直接輸送されることが多い。
    - ③ 作物ごとの特徴…見たことのない野菜やハーブがほとんど。日本の野菜もあるが基本的に日本食レストランで使われるものとのこと。日本野菜は北部のチェンマイなどで栽培される。24時間オープンだが、朝は魚、夕方は野菜といったように時間帯により取引量が違う。野菜は4~6月が取引が多い。りんご・なしは日本からの輸入もあるが中国からのが多い。魚は海水魚より淡水魚が多いが、面積自体が野菜・果物の方が圧倒的に広い。
  - ▼ 王立農業博物館(Royal Jubilee Agricultural Museum)
    - ① 博物館の概要…学芸員らしき職員のティーさんに案内をしてもらう。会館は月曜休日で9:00~15:00。博物館の建物は国王の50歳の時を記念して5つの棟から出来ている。訪問した展示館の他にも敷地内に伝統的家屋の再現や、稲作研修、昔水路で作物を運送していた頃の船、雨を科学合成で降らせるための飛行機などがある。
    - ② 治水・土壌改良など…タイ初めてのダムの模型や、地方による農作業風景の違いを表す模型がある。南部は種を直接まいて米作、北部は階段畑で茶の生産や、キャベツ、花など涼しい地方の作物を育てる。バンコクも昔は洪水に見舞われ、たくさん水を蓄えるという意味でサル的微笑みプロジェクトが進められダムを建設した。土壌浸食を防ぐため根の長い草を植えたり、塩害等様々な条件の土壌の改良方法を展示。水車で池の水に酸素を送り、腐敗と悪臭を防止する装置も展示されており、実際にタマサート構内にもいくつか水車が回っているのが見られる。
    - ③ 地方の伝統的文化…訪問した当日は直前にあった国王誕生日の恩返しの意味で特別の祭りを開いていた。博物館の入口には牛を連れた人々がおり、東北地方の昔ながらの農具を若者に伝える意味で農具を加工する様子も実演されていた。ちょうど農林水産省の高官が訪れ幸運を呼ぶミサンガを結ぶ伝統的儀式が行われていた。テレビカメラ等も入り太鼓の音と踊りも披露される中、ニパラット先生や静大のメンバーも結んでもらい喜ぶ。
  - ▼ マーケット訪問と食文化
    - ① 百年サムチュック市場…百年間続いているというマーケットは昭和の雰囲気も感じられるレトロな空気。果物やちまきなどのほか見たことのない食べ物を恐る恐る買って食べた。
    - ② ドン・ワイ水上市場…外国人観光客の少ない場所。船上取引はしていなかったものの、川面には空心菜を栽培している農家が続き、豊かな川の恵みと人々の生活を観察することが出来た。
    - ③ 日々の食事…ニパラット先生や指導学生のファイさんとエイさんにはメニュー選びや食材の知識を教わった。現地特有の様々な作物や味付けに戸惑いつつも、少しずつコツを覚えて行った。



▲プレゼンをしてくださった中央卸売市場の職員の方(右から3番目)と記念撮影。



▲中央卸売市場の野菜市場建物外観。手前には荷台販売をしているピックアップトラックが写っている。こうした巨大な建物が他にもたくさんある。



▲トムヤムクンに欠かせない香草とレモングラスが積まれている。レモングラスは硬いので食べなくて良いと後から知らされた。



▲様々な種類の唐辛子。タイ料理では頻繁に使用われ、料理の写真からは辛さが予測できない。



▲野菜市場の中に入った所。ニパラット先生が色々なタイ独特の作物について説明をしてくださいました。



▲王立農業博物館の入口にあるモニュメント。博物館にはタイ農業における国王の功績が幾つも展示されている。



▲幸運を呼ぶミサンガを着ける儀式をしている。右上には民族衣装を着て輪になって踊っている人々がいる。



▲王立農業博物館にも展示されていた酸素を送る水車が大学の敷地にも展示されている。実際に稼働しているものも構内の数箇所で見られる。

## 11 研修スケジュール

■2009.12.06～12.12

2009(平成21)年

Ⓜ：各部署担当者とのミーティング及び質疑応答

日	時間	訪問部署・視察場所等	掲載頁
12/06(日)	11:00	中部国際空港発	
	15:30	スワンナプーム空港着(以降タイ時間：-2時間)	
12/07(月)	08:30-17:00	(祝日のためマーケットや寺院等を見学)	
12/08(火)	09:15-09:25	IEAS内の静大タイ連絡事務所を見学	P15
	09:30-11:40	Ⓜ副学長表敬訪問及びプランニング担当	P3
	13:00-13:10	文科系サークル棟を視察	P5
	13:10-13:25	Ⓜボランティアセンター訪問	P5
	13:30-14:30	Ⓜ学生センター訪問	P5
	14:30-14:45	Ⓜ障害者支援設備の視察	P5
	15:00-15:40	Ⓜ財産管理担当部署を訪問	P13
	15:45-16:00	Ⓜ学生寮のモデルルーム視察	P13
	16:15-16:50	(中央卸売市場を訪問し担当者から説明を受ける)	P19
	16:50-17:30	(市場内を見学)	P19
	17:45-18:00	体育館・プール・陸上競技場を視察	P17
12/09(水)	09:10-10:20	Ⓜプオイ図書館を訪問	P9
	10:20-12:00	Ⓜ教務課を訪問	P7
	13:15-13:30	Ⓜ社会科学部内の情報センターを視察	P7
	13:30-13:45	Ⓜブックセンター訪問	P17
	14:30-15:45	(国立農業博物館を訪問し学芸員の方に案内してもらう)	P19
	16:00-16:30	IEAS内の茶室と日本庭園を見学	P15
	17:15-17:50	ⓂIEASの日本語教育について説明	P15
	17:50-18:30	日本語教育の授業等を見学	P15
	18:40-19:50	Ⓜプオイ図書館を再訪問	P9
12/10(木)	09:00-09:20	バンコク市内のタプラチャンキャンパスを訪問	
	09:20-17:00	(祝日のためマーケットや寺院等を見学)	
12/11(金)	08:30-12:30	コンクルージョン、大学内で資料収集等	
	13:30-13:55	IEAS所長ソムチャイ先生を訪問	
	14:00-17:00	(ショッピングモール)	
	18:30	(ホステルをチェックアウト、空港へ向かう)	
12/12(土)	00:05	スワンナプーム空港発	
	07:20	中部国際空港着(日本時間：+2時間)	



▲帰国前に東アジア研究所長のソムチャイ先生(右から2番目)に挨拶が出来て、玄関前で記念撮影。つい先程出張先の日本から帰国したばかりとのこと。左端は通訳をしてくださったニバラット先生。



▲空港の送り迎えやマーケットに出かける際、一日中同行してくれたファイさん(右端)とエイさん(左端)。2人とも大学院生で日本留学の経験がある。帰りのバンコク国際空港入口付近で撮影。

## 12 事前事後の打ち合わせ

■2009.08 ~ 2010.02

月日	事項	内容等	備考
08/下旬	海外研修参加者の決定	—	
10/05	第1回参加者打合せ会	研修の意義の確認をし、派遣候補地のタマサート大学(TU)との交流実績や現地への訪問経験のある先生からの話を伺う。	センター長室
10/08	TUからの日程承諾	IEAS ソムチャイ先生から日程や宿泊先等の案が送付される。	メール
10/13	研修事項の提出	国際交流の小林さんへ各参加者から研修希望事項を書き出したものを送付する。	メール
10/14	第2回参加者打合せ会	研修希望事項の説明をして、藤井国際交流課長にチェックしていただいた。	テレビ会議
10/28	研修事項の提出	各参加者の研修事項を1つの様式にまとめて小林さんへ送付する。	メール
11/04	第3回参加者打合せ会	研修事項の打ち合わせと、フライトスケジュールの確認をした。	テレビ会議
11/12	研修事項をTUへ送付	小林さんから英訳済みの研修事項をTUへ送付した。各項目の静大での取り組み状況も各自手持ち資料として英訳する。	メール
11/25	第4回参加者打合せ会 局長他への挨拶	旅行会社(霞が関トバム)との打ち合わせ。 IEAS ニパラット先生からの詳細スケジュールと現地での緊急連絡先等を確認。	センター長室
12/21	帰国の報告 総務部長他への挨拶	藤井課長に研修内容を報告し、事務協議会での報告について打合せをする。	センター長室
12/下旬	報告書の作成準備	研修時のメモや写真を整理して参加者で交換する。お礼について打合せ	メール
01/上旬	先方へのお礼を送付	参加者の連名でお礼を送った。	メール等
03/23	事務協議会報告	研修の報告	



▲タイの高速道路は道幅も広く直線が続く。運転手さんには1週間ずつと同行していただいた。



▲東アジア研究所外の庭にある植え込み。象が鼻の先にタイ国旗を持っている。



▲東アジア研究所の掲示板にあった盆踊り大会のポスター。12月開催。日メコン交流年の事業。



▲インターゾーンビル内にあるマンガ専門店。日本のマンガ等が壁一面に並べられている。



▲社会科学部棟の食堂付近にあったミネラルウォーターの山。食事の際はみんな水を買って飲む。



▲日本語講師の山根先生(右から2番目)と渡辺先生(右端)。お勤めのタイ料理店を教えてもらい食事をした。

### 1 3 質問内容

■渡航前にニパラット先生経由で各部署へ事前送付した研修希望事項。これに沿ってミーティングが進められる部署もあったが、先方のプレゼン資料中心となる場合もあった。英訳は国際交流チームのご協力により追加作成。他に手持ち資料として静大側の現状も和文・英文で作成した。

項目/Topics		質問内容/Questions	
General Information	予算規模 <i>budget size</i>	Q1	収入内訳、人件費比率、損益について教えてください。 Please tell us the detail of revenue, the ratio of personnel costs among expenditure and the profit and deficit in total budget.
	キャンパス間 ネットインフラ <i>Campus network and facilities</i>	Q2	どのようなキャンパス間ネットワークがあるのか、またその会議、講義への利用状況について教えてください。 What kind of network system between campuses do you have? Do you use the system for conference or lectures?
	大学職員 <i>university staff</i>	Q3	大学の職員について、定員制度があるか、非正規雇用職員がいるか、民間企業と比較して給与水準はどうか、社会保障や退職金などの福利厚生などについて教えてください。 Is the number of university staff capacity determined by regulation? Do you hire part time employees? Please tell us about the wage level compare to private companies and welfare such as social insurance and retirement allowance.
Student Services	奨学金制度 について <i>scholarship</i>	Q4	全国的な奨学金および大学独自の奨学金の種類やその金額について教えてください。 Please tell us about the government (nation-wide) scholarship and the scholarship of your own. (requirement for application, the amount of scholarship and so on.)
	学生寮 <i>dormitory</i>	Q5	学生寮の収容人員とその学生定員との比率、また料金、内部設備やセキュリティーなどについて教えてください。 Please tell us the capacity of dormitory, the portion of residence out of total number of student, the equipment, fee, security inside and outside of dormitory and so on.
	学生食堂 <i>cafeterias</i>	Q6	学生食堂の運営はどこが行っていますか？料金や学外者の利用についてはどうですか？ Who run the campus cafeterias? How about the price of food? And are they available for visitors?
	リスク マネジメント <i>risk management</i>	Q7	災害時等の安否確認どのように行いますか？ How does the university act at the emergency situations such as natural disasters? How do you inquire students safety at emergency situation?
	サークル・課外活動 <i>extracurricular activities</i>	Q8	Activity Transcript がどのように活用されていますか？ How do the students utilize the Activity Transcript (which is introduced in SIIT from 2008)?
	ボランティア活動 <i>volunteer</i>	Q9	学生はどのくらいボランティア活動を活発に行っていますか？ Are the students involved in volunteer activities actively?
	アルバイト <i>part time job</i>	Q10	学生のアルバイト状況について教えてください。また大学がアルバイト先を紹介していますか？ Please tell us students' part time job situation. Do you offer working opportunities for students?
	就職 <i>career and jobs</i>	Q11	就職状況について教えてください。(国内企業、外国への就職・進学割合など) Please tell us the trend of employment situation. What kind of job is popular (domestic company, overseas company or going to higher education)?
Academic Affairs	授業料の額 について <i>tuition</i>	Q12	授業料の額を教えてください。(一般学部生・大学院生・研究生・聴講生) Please tell us about the amount of tuition fee. (undergraduate, graduate, researchers, auditors)
		Q13	授業料の金額はどんなタイミングで見直していますか？またその見直しの基準はありますか？ How often do you review the tuition fee? And by what kind of factor should the tuition fee be revised?
		Q14	他大学と比較すると授業料はどうか？ Is the tuition fee more/less expensive compare to other universities in Thailand?
		Q15	その授業料は一般的な家庭での負担としてはどの程度だと思いますか？ Do you think the amount of tuition fee can be afforded for average family income?
	聴講生 <i>non-degree auditors</i>	Q16	聴講生は、履修単位の上限設定などの制限がありますか？ Do the auditors have the limit of the number of credit?
	研究生 <i>research students</i>	Q17	研究生制度はありますか？ある場合はその受け入れ基準・資格について教えてください。また外国人比率について教えてください。 Do you accept "research students" in your university? If so, what kind of admission requirement do you provide? And what is the ratio of foreign students out of total students?
	教務コンピュー タシステム <i>Student Information System</i>	Q18	教務システムは導入していますか？している場合は、開発ベンダーについて、システムの構成について、システムの評価とコストについて教えてください。 Do you adopt Student Information System for managing course registration, test score, personal information and so on? Is it ready-made system or invented by university? Please tell us about the system; Is it useful? How about the cost to maintain the system?
	ラーニングマネジ メントシステムなどの 自学自習システム <i>Learning Management system</i>	Q19	LMS(インターネットを介した教材の配信や、学習者の履歴を管理するようなシステム)はありますか？している場合はその利用状況と効果、コストなどについて教えてください。 Do you have Learning Management System (sending materials through internet, managing students' academic records)? If so, is it effective? How about the cost to maintain the system?

	成績評価について <i>academic records</i>	Q20	試験の点数や出席などをどのように成績に反映しますか？ How do the teaching staff take account the test score and attendance records on the grade?
Admission	入学試験の種類・回数 <i>admission test</i>	Q21	全国統一的な入学試験はありますか。あればそれを利用していますか？面接試験の場合はどのように評価しますか？ Do you have admission test which is adopted by universities in Thailand nationally? If so, do you adopt the test? And how do you evaluate the candidates at interview test?
	大学進学者の変化 <i>the number of enrollment</i>	Q22	大学進学者の最近の増減傾向について教えてください。 Please tell us about the resent number of enrollment in universities. (increasing or decreasing?)
Library	教育研究および学習支援 <i>support for education, research and study</i>	Q23	(学習環境の整備) ラーニング・コモنزのような学習環境が図書館で必要とされていますか？学生同士の情報交換や共同作業を行うことができる場所を提供していますか？また、その学習効果についてはどう考えますか？ Do you think the library is expected to have the learning environment as "Learning Commons"? Does the library offer the spaces to have meeting or group work for students? What do you think about the effect of that kind of environment?
		Q24	(滞在型図書館) 快適に図書館を利用してもらうため、リフレッシュできる空間(食事ができるカフェ、集中できる個室など)がありますか？キャンパスでの学生の居場所として図書館ができる工夫はありますか？ Does the library offer open spaces such as cafeteria and private rooms in order to make the comfortable atmosphere? Do you think the library should play the role for serving useful spaces for students?
		Q25	(教育プログラムとの連携) カリキュラムとの関連性を重視した利用者教育、情報リテラシー教育が行われていますか？教員との協力体制と学習成果について教えてください。 Does the library educate students focusing on the curriculum and information literacy? Do the teaching staffs and administrative staffs work together for this kind of education? And how about the effect of this activities?
		Q26	(学習スキル習得のためのサポート) 大学での学び方、論文作成やプレゼンテーションなどを指導するサービスがありますか？パソコン、プロジェクタなど機器の利用環境や人的サポートの体制、学生の利用状況について教えてください。 Does the library offer services such as advising students for learning philosophy and writing papers or giving presentations? Please tell us about the equipment in the library such as computers and projectors which can be available for students. Are there enough staffs for serving students at library?
		Q27	(学術リポジトリ) 研究成果の保管と公開のため、どのような体制で取り組まれていますか？学術成果の効率的な収集方法や公開された学術情報の利用促進のため行っている活動はありますか？ Please tell us how the library keeps/opens the research products. How does the library collect the research products effectively and promote the use of open academic information?
		Q28	(学内組織との関わり) 学内他部署と連携して行う活動はありますか？例えば、キャリア支援・留学生のための資料購入や就職へ向けたキャリア構築のための講座の開催などがありますか？ Does the library work with the faculties or administrative sections for some activities? For example, does library offer the materials for international students and job hunting for students? And does it hold open lectures for advising students of job hunting or career planning?
	大学コミュニティとの協働と地域社会への貢献 <i>working with community</i>	Q29	(学生との連携) 学生アシスタント等、図書館運営への学生参加をサポートする体制はありますか？学生参加の活動について教えてください。また学生の図書館への積極的な関わりを勧めるための工夫はありますか？ Do you hire students as assistant in order to encourage students to be involved in library work?
		Q30	(意見の反映) 学生の意見をどのようにサービスに取り入れていますか？(定期的なミーティングやインタビューの実施、教員からのアドバイスなど)また、どのような要望がありますか？ Does the library adopt the opinion from students? (by way of meeting, interview, advice from teaching staff etc) What kind of opinion do the students have for library improvement?
		Q31	(図書館の地域貢献) 地域の方を対象とした図書館サービスやイベントの開催、地域の方との交流、一緒に活動する機会がありますか？また、地域へ向けてどのように図書館をアピールしていますか？ Does the library offer events or services for community? How does the library make effort to increase the users from community?
		Q32	(地域図書館との協力) 地域の図書館との協力によるサービスがありますか？学内者、地域住民にとって有益なサービスや良い効果を生み出す図書館同士の交流について教えてください(研修や勉強会など)。 Does the library work with community libraries to offer some services? What kind of opportunity does the library have in order to create effective services for people in university and community?

## 14 キャンパスマップ

### ■ランシットキャンパス全体図



▲高層の寮が立ち並ぶ一帯。



▲財産管理部やテナントが入っているインターゾーンビルの周辺。

国のサイエンスパークとアジア工科大学院が隣接して、クラスターを築いている。



▲構内にある郵便局の店舗。ポストは他の場所にもある。

保育所や小学校がこの一帯にあり、教職員は子供を預けることができる。



▲広大なメインスタジアムはアジアスポーツ大会で使われたもの。



▲社会科学部の建物。中庭側から見た様子。



▲映画館では学生の自主制作作品の上映やガイダンス等に利用されている。



▲アティックスポーツセンターにある飛び込み台。国の強化選手も練習に来ている。



▲構内にある寺院は夜になるとライトアップされる。



▲南側ゲートの様子。タクシーやバスが頻繁に出入りする。

■東アジア研究所周辺拡大図



▲文科系サークル棟とボランティアセンターが併設されている。



▲構内無料バスの停留所周辺。授業前後の時間帯には学生で混み合う。満員の場合は歩く。



▲ランジットキャンパスの中心的建物のドーム。池の噴水と共にライトアップされている。



▲東アジア研究所内の日本庭園と茶室の様子。



▲東アジア研究所の正面玄関。



▲ロータリー周辺。朝もやで地平線が霞む構内道路の様子。



▲ブックストアでは専門書や文具、パソコン機器等を取り扱う。



▲ブイ図書館の様子。吹き抜けの天井がある新しい建物。



▲教務課の正面玄関。すぐ隣には提携するクルンタイ銀行のATMコーナーがある。

## 15 所感と謝辞

■研修者個人ごとの感想です。

### 【山下義保】

何年か前から、職員を海外に派遣し研修する機会があることは知っていましたが、私の今の職場では年間を通じて10回もの入学試験を実施しなければならず、自分には到底無縁のものと思っていました。しかし予想外の展開により、今回の研修に参加させて頂ける事となり大変感謝しております。これまでの派遣先は英語圏を中心に考えられており、年度末の寒～い時期に米国やカナダへ訪問していたようですが、今回は東南アジアのタイ国への訪問ということで、時期的にも、ここしかないというタイミングでの訪問をお認め頂いたり、事前にいろいろな情報や知恵を授けて頂いたり、関係する皆様には出発前から大変お世話になってしまいました。実際に訪問してみて思った事は、事前にいろいろ情報を集めてみて、タイの事やタマサート大学の事が多少なり分かったつもりになっていても、気温を感じ、匂いを感じ、言葉を耳にし、実感することで、行く前とは随分と異なった印象もある事が分かりました。今回の思いがけない幸運による経験が、今後少しでも大学と国際交流に役立つ事があれば幸いに思います。また、会話から資料作成まで柴田さん高橋さんに大変お世話になりました。感謝。

### 【柴田大樹】

バンコク国際空港は広大でゲート付近にはプラカードを持った大勢の人がひしめいた感じでした。無事にファイさんに合流でき、普通に日本語で話せることが分かった時はほっとしたことを覚えています。出かける先々で浮かんで来る素朴な疑問にも丁寧に答えてくださり、生活や文化に至るまで理解を深めることが出来ました。

それから1週間密度の濃いスケジュールで色々な所を回って行く内に、最後の方になると東アジア研究所に帰ってくると不思議と家に着いた様な錯覚を感じるようになりました。充実した滞在期間を終えて今考えると、タマサート大学の方々には前々から相当な準備をされていたのだと改めて気付かされ、感謝してもし尽くせない思いです。

普通の観光客としてはまず行けないようなタイを肌で感じられるような場所を見せてくださり、大変贅沢な経験をさせてもらったと思います。ご対応いただいた各部署の方や今回の研修を支えてくださった静大側のご関係者も含めて、皆様本当にありがとうございました。

### 【高橋里江】

この研修を通して学び得たものは大きく、また、各地を案内してもらい体験したタイの文化や生活にも多くの驚きと感動がありました。そして、何よりもお世話になった方々の優しさが今も心に残っています。

タマサート大学は敷地がとても広く、研修期間はまるでひとつの街で生活しているかのような感覚でした。大学が生活の場である学生にとって、教育・研究のための環境はとても大切で、訪問先の各部署で伺ったお話からも、学生の活動を最大限にサポートすること、皆が教育・研究の機会を平等に得られること等、大学の役割として重要視されていることが分かりました。さらに、学生の自主性を尊重し、社会へ貢献できる人材を育てることへの熱意をお話の中に感じました。

研修期間はあっという間で、毎日がとても新鮮でした。タイは気候も人も朗らかで、とても健康的に充実した日々を過ごすことができました。

各部署への訪問・見学では貴重な時間を割いて、親切丁寧に質問にお応え頂きました。温かく迎えてくださった方々へ心から感謝いたします。また、海外研修の機会をくださり、出発前からご指導を頂いた静岡大学の皆様、山下さん、柴田さん、本当にありがとうございました。